安全にお使いいただくために

この説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

⚠警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お　願　い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらお買い求めの販売店へお申しつけください。
●本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通話、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本装置を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。
●このシステムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外での使用はできません。　This system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本書を紛失または、損傷したときは、お買い求めの販売店へお問合わせください。

⚠警　告　安全にお使いいただくために必ずお守りください

対処の仕方について

発煙への対処

◆万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。

破損時の対処

◆万一、本装置を破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

落としたときの対処

◆万一、本装置を落とした場合、ＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

水が装置内部に入った場合の対処

◆万一、内部に水などが入った場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

異常音への対処

◆本装置から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

⚠警　告　安全にお使いいただくために必ずお守りください

火災・感電・火傷・けがを防ぐために

ぬらさないでください

◆ＡＣアダプタ及び本装置をぬれた手で触ったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となることがあります。

商用電源以外の使用禁止

◆ＡＣアダプタＡＣ１００Ｖの商用電源以外では、使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

湿度の高い場所での使用禁止

◆ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

異物混入の禁止

◆本装置のすき間などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

専用のＡＣアダプタ以外の使用禁止

◆ＡＣアダプタは、添付してあるもの以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線の禁止

◆テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手での操作禁止

◆ぬれた手でＡＣアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

取扱上の注意

◆本装置をねじったり、重いものを乗せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・火傷・けがの原因となることがあります。

湿度の高い場所での設置禁止

◆水洗い場（ふろ場）加湿器のそばなど、湿度の高いところには設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

分解・改造の禁止

◆本装置を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
（※分解・改造された機器は、修理に応じられない場合があります。）

装置上に水、薬品などを置かない旨の対処

◆本装置の上やそばに花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水の入った容器、又は小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になることがあります。

電源コードの取扱注意

◆本装置の電源プラグについたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると火災の原因になります。
◆電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードがいたんだら（芯線の露出、断線など）お買い求めの販売店にご依頼ください。

設置場所の注意

◆病院など使用を禁止された区域には設置しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

⚠注　意　安全にお使いいただくために必ずお守りください

火災・感電・火傷・けがを避けるために

ＡＣアダプタの取扱上の注意
◆ＡＣアダプタをコンセントから抜くときは、必ずＡＣアダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所への設置禁止
◆ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。

火気のそばへの設置禁止
◆本装置を熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

温度の高い場所への設置禁止
◆直射日光のあたるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところには置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

壁掛けにするときの注意
◆本装置を壁に取り付ける場合は、本装置の重みにより落下しないように堅固に取付･設置してください。重みでネジが外れ落下してけがの原因となることがあります。
◆壁に取り付けるための部材（ネジ）は、必ず同梱（指定）のものを使ってください。ねじが短いなど強度が足りないと、落下してけがや故障の原因となることがあります。

長期不在時はコンセントから抜いてください
◆長期間ご使用にならないときは､安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

油飛びや湯気のあたる場所への設置禁止
◆調理台のそばなど油飛びや湯気のあたるような場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。火災･感電の原因になることがあります。

設置場所に関する注意
◆次のような場所への設置の仕方はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
・本装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
・本装置を収容棚や本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。
・本装置をじゅうたんや布団の上に置く。

雷のときは、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください
◆近くに雷が発生したときは､ＡＣアダプタをコンセントから抜いた後、ご使用を控えてください。雷によっては､火災･感電の原因となることがあります。

本装置に乗ることの注意
◆本装置に乗らないでください。小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

お　願　い　故障の原因となることがあるため必ずお守りください

故障を避けるために

取扱上のご注意について
◆落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
◆本装置をぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
◆高周波ノイズが発生する機器等の近くでは、雑音が入る場合があります。
◆硫化水素が発生する場所では、寿命が短くなることがあります。
◆キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を本機器に近付けないでください。カード類が使えなくなることがあります。

日頃のお手入れについて
◆ぬれた雑巾･ベンジン･アルコール･シンナー･石油・熱湯などで拭かないでください。変色や故障の原因になることがあります。
◆汚れがひどいときは、ぬるま湯をつけた布をかたくしぼって拭き、もう一度乾いた布で空拭きしてください。洗剤をスプレーなどで直接かけることは避けてください。
◆本装置のお手入れの際は、安全のためＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

設置場所について
◆ 故障の原因となりますので、次の場所への設置は避けてください。
◆ 直射日光のあたる場所、冷暖房器やボイラなどの近く。
◆ 湿気の多い場所や水・油・薬品などがかかる恐れのある場所。
◆ チリやほこりの多い場所。鉄粉や有害ガスの発生する場所。
◆ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
◆ 家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所。
◆ 金属製家具などの近く。
◆ 家庭用デジタルコードレス電話機などと本装置、または本装置どうしも１m以上離してご使用ください。

その他
◆本装置は、ディジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を越える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースも全くないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。
◆本装置を設置する前に、その設置場所において、契約される電話会社の基地局との通信が十分に行えることを確認してください。またデジタルコードレスとして使用される場合は、ＣＳとの通信が十分に行えることを確認してください。
◆ 基地局からの電波の強さが変動する場所（車往来の激しい場所、電車線路の近傍等）への設置はご遠慮ください。
◆ 周囲温度が０℃以下及び４０℃以上になるような箇所には設置しないでください。
（安定動作しなくなります。）

警告
本装置は、外国為替及び外国貿易管理法の規定により規制貨物等（又は役務）に該当する場合がありますので、日本国外に輸出する場合には同法に基づき日本政府の輸出許可の確認が必要です。

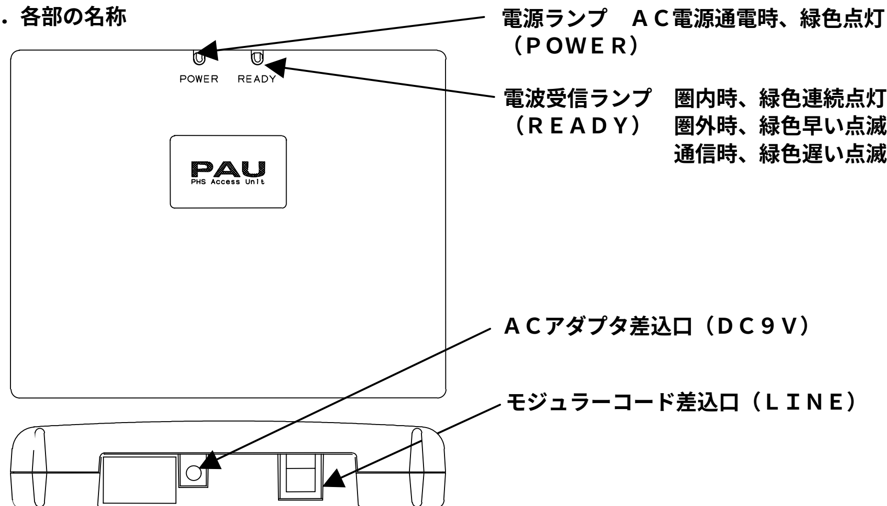
ＰＨＳアクセスユニット
（ＰＡＵ－１１２）
取扱説明書

このたびは、ＰＡＵ－１１２をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
・ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
・お読みになられたあとも、本装置のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

１．はじめに

本装置は、ＰＨＳ公衆基地局またはＰＢＸのＣＳと無線通信を行うことにより、接続したアナログ電話機、ＦＡＸ、モデム、伝送装置（ＮＣＵ）等を使用することができます。

２．各部の名称



３．添付品

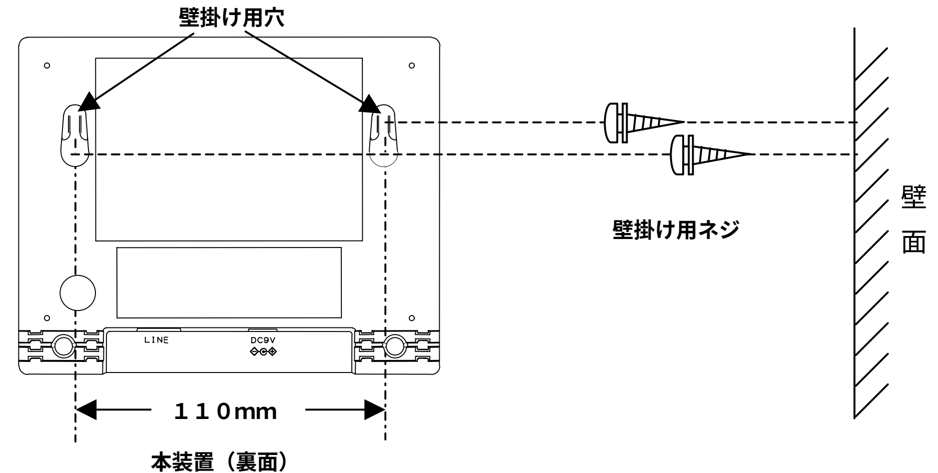
品　名	数量	記　事
ＡＣアダプタ	１	約１．８ｍ
壁掛け用ネジ	２	
保証書	１	
取扱説明書（本書）	１	

４．設置場所の確認（事前に確認ください）

（１）設置システムのサービスエリア内であること。
（２）試験用端末で３０ｄＢ以上の電波が受信出来て、試験用端末での通話確認でとぎれ等の問題がないこと。
（３）周囲環境条件
　・直射日光が長時間あたる場所は避けること。
　・金属の壁面は避けること。

５．設置条件

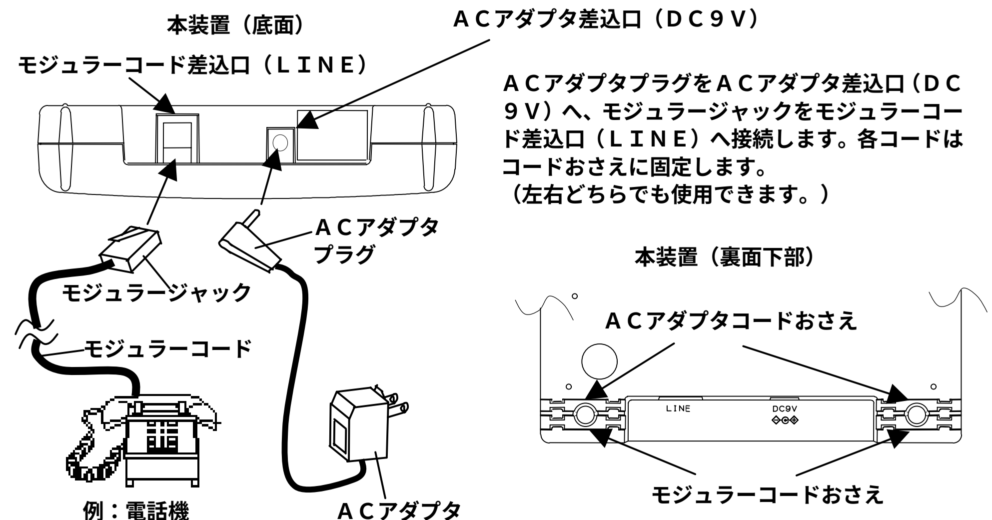
壁掛けとして使用する際は、壁掛け用ネジ２本を壁に取り付けます。
本装置裏面の壁掛け用穴に引っかけて取り付けます。



⚠注　意

取り付ける際は丈夫な壁を選び、一定の厚み（約２ｃｍ以上）のある所へ取り付けてください。
ベニヤ板など薄い板壁やボード板（石膏板）には直接取り付けないでください。
また、振動の多い場所へも取り付けないでください。落下する恐れがあります。

６．接続方法



ＡＣアダプタプラグをＡＣアダプタ差込口（ＤＣ９Ｖ）へ、モジュラージャックをモジュラーコード差込口（ＬＩＮＥ）へ接続します。各コードはコードおさえに固定します。
（左右どちらでも使用できます。）

７．動作確認

（１）ＡＣアダプタをＡＣコンセントに接続後、ＬＥＤ表示を確認します。

ＬＥＤ名	表示確認内容	説明
ＰＯＷＥＲ	緑色点灯	電源正常
ＲＥＡＤＹ	緑色早い点滅→緑色点灯	圏外（ＣＳ検索中）→圏内待ち受け中

（２）発信、着信操作を行い通信可能であることを確認します。

８．音声通話使用の設定（ＰＨＳ、デジタルコードレス）

アナログ電話機をご使用になるときは、下記の音声モード設定を圏内時に、事前に行ってください。
（ハンドセットを上げて）“＊＃＊＃＊＃１＃”をダイヤル（音声モード設定）
初期に戻すときは、
（ハンドセットを上げて）“＊＃＊＃＊＃２＃”をダイヤル（３.１ｋＨｚｵｰﾃﾞｨｵモード設定）

９．ＰＢＸの転送モード設定（デジタルコードレス）

本装置が接続されるＰＢＸの種類により、転送モードの設定を圏内時に、事前に行ってください。

モード１（ＡＰＥＸ７６００用）（デフォルト設定）
（ハンドセットを上げて）“＊＃＊＃＊＃３１＃”をダイヤル

モード２（ＡＰＥＸ３６００用）
（ハンドセットを上げて）“＊＃＊＃＊＃３２＃”をダイヤル

１０．接続アナログ電話機の一般的操作方法

①発信するとき…電話機のハンドセットを上げてダイヤルトーンを確認後、相手電話番号を
そのままダイヤルします。ダイヤル直後に“＃”ダイヤルを押下します。
②着信したとき…着信すると電話機が鳴動します。ハンドセットを上げて応答します。

１１．停電のとき

本装置は停電対応をしていないため、停電になると使用できなくなります。

１２．仕様

項　目		内　容	備　考
無線部	種別	ＰＨＳ端末、デジタルコードレス端末	
	通信方式周波数	ＴＤＭＡ－ＴＤＤ、１．９ＧＨｚ帯	
	送信出力	１０mW	
	使用範囲	ＰＨＳ公衆基地局サービスエリア内	公衆登録時
		デジタルコードレスシステムエリア内	自営登録時
有線部	種別	アナログ回線機能	
	端末接続数	１台	一般モデム、電話機
	極性反転	相手応答時（反転）、終話時（復旧）	発信通信時
		着信開始時（反転）、発呼側終話時（切断パルス）	着信通信時
	通話電流供給	ＤＣ４８Ｖ　定電流供給（約２７ｍＡ）	
	配線長	最大１００ｍ（ＰＡＵ－端末間）	0.5φケーブル
	ダイヤル種別	ＤＴＭＦ（ＰＢ信号）	
	ダイヤル終端信号	“＃”検出	
接続モデム通信速度		最大　９６００ｂｐｓ	モデム接続時、みなし音声通信
使用環境	温　度	０～４０℃	
	湿　度	２０～８０％	結露なきこと
電源	電　圧	ＡＣ１００Ｖ（５０／６０Ｈｚ）	ＡＣアダプタ使用（電取認定番号：９１－５５１８８）
	消費電力	最大５Ｗ	
構造	寸　法	約１２０×１４８×３０（Ｈ×Ｗ×Ｄ）（mm）	ＡＣアダプタを除く
	重　量	約２５０ｇ	ＡＣアダプタを除く